

「心理臨床学特別演習Ⅰ」【修士論文研究計画】(M1・7月) 評価 院生氏名 () 2024.4.1 改訂
指導教員 () : _____点 (25 点満点) 副指導教員 () : _____点 (25 点満点) 合計点 : _____点 (50 点満点)

評価項目	得点				
	1	2	3	4	5
問題設定：問題設定が明確で実現可能性があるか。	問題の設定がまったく明確でなく、実現可能性もまったくない。	問題の設定はあまり明確でなく、実現可能性もあまりない。	問題の設定はある程度明確であり、実現可能性も少しはある。	問題の設定は明確であり、実現可能性もある。	問題の設定は非常に明確であり、実現可能性も十分にある。
目的：問題に即した目的が示されているか。	目的が示されていない。	目的はあまり明確に示されておらず、問題にもほとんど即していない。	目的はある程度明確に示されているが、問題にはあまり即していない。	目的は明確に示されており、問題にも即している。	目的は非常に明確に示されており、問題にも十分即している。
方法：目的に沿った研究方法が示されているか。	研究方法が示されていない。	大まかな方法は提示されているが、研究を実施するには十分ではない。	研究方法が具体的に示されているが、研究目的にあまり沿っていない。	研究目的を達成するにふさわしい研究方法が具体的に記述されている。	研究目的を達成するにふさわしい研究方法が非常に具体的に記述されている。
先行研究：国内外の研究を引用しているか。	先行研究の引用がほとんどできていない。	国内の先行研究を引用しているが、整理して説明できていない。	国内の先行研究を引用し、整理して説明できている。	国内外の先行研究を必要最低限引用し、整理して説明できている。	国内外の先行研究を十分に引用し、整理して説明できている。
研究倫理：研究倫理は守られているか。	倫理に関する配慮がまったく示されていない。	倫理に関する問題意識は窺えるが、配慮が具体的に示されていない。	倫理に関する配慮が具体的に示されてはいるが、十分とは言えない。	倫理に関する配慮が具体的に示され、研究倫理がほぼ守られている。	倫理に関する配慮が具体的に示され、研究倫理が十分に守られている。

評価項目	得点				
	1	2	3	4	5
問題設定：問題設定が明確で独創性があるか。	問題の設定がまったく明確でなく、独創性もまったくない。	問題の設定はあまり明確でなく、独創性もあまりない。	問題の設定はある程度明確であり、独創性も少しはある。	問題の設定は明確であり、独創性もある。	問題の設定は非常に明確であり、独創性も十分にある。
目的：具体的な目的が示されているか。	目的が示されていない。	目的はあまり具体的に示されておらず、問題にもほとんど即していない。	目的はある程度具体的に示されているが、問題にはあまり即していない。	目的は具体的に示されており、問題にも即している。	目的は非常に具体的に示されており、問題にも十分即している。
方法：研究方法が具体的かつ正確に示されているか。	研究方法が示されていない。	大まかな方法は提示されているが、研究を実施するには十分ではない。	研究方法が具体的に示されているが、研究目的にあまり沿っていない。	研究目的を達成するにふさわしい研究方法が具体的に記述されている。	研究目的を達成するにふさわしい研究方法が非常に具体的に記述されている。
先行研究：先行研究における知見や課題が整理されているか。	先行研究の引用がほとんどできていない。	国内の先行研究を引用しているが、整理して説明できていない。	国内の先行研究を引用し、整理して説明できている。	国内外の先行研究を必要最低限引用し、整理して説明できている。	国内外の先行研究を十分に引用し、整理して説明できている。
プレゼンテーション：プレゼンテーションの方法が適切であったか。	内容の理解が乏しく、中には誤解もある。質問にも正確に答えられない。	内容の理解やプレゼンテーションに不十分な点があり、質疑応答において応答できない箇所がある。	内容の理解は十分であるが、プレゼンテーション方法や質疑応答において曖昧な点がある。	内容の理解は十分で、適切にプレゼンテーションできているが、質疑応答においてあいまいな点がある。	内容の理解は十分で、適切にプレゼンテーションできているが、質疑応答にも的確に回答できる。